



開校 10 周年

伊豆の国特別支援学校

伊豆松崎分校

地域に学び 地域に生きる人

(学校教育目標の題字 1年 山本修平さん)

開校式



賀茂地域の特別支援学校高等部教育の空白解消と「共生・共育」の充実を目的として、県立松崎高等学校敷地内に開校され、高等部を設置。

平成 23 年 4 月 8 日。静岡県立松崎高等学校の講堂で開校式・入学式が行われ、1 期生となる 6 人が入学許可を受けて念願だった高校生活のスタートを切りました。

10 年のあゆみ

- 平成 23 年 4 月 1 日 静岡県立東部特別支援学校
伊豆松崎分校 開校
- 平成 26 年 3 月 11 日 第 1 回卒業証書授与式
- 令和 3 年 4 月 1 日 本校変更に伴い学校名が
静岡県立伊豆の国特別支援
学校伊豆松崎分校となる



共生・共育の取組

静岡県立松崎高等学校との交流



合同文化祭（双獅祭）



合同体育大会



合同マラソン大会

清掃活動や作業活動を通して地域と交流



石部の棚田保全活動



桜葉作業



桑葉ファーム

働く人を目指して



木工



陶芸



農園芸



家庭（買い物学習）



総合（松崎町散策）



国語（暑中見舞い）

職場実習



ホテルの清掃



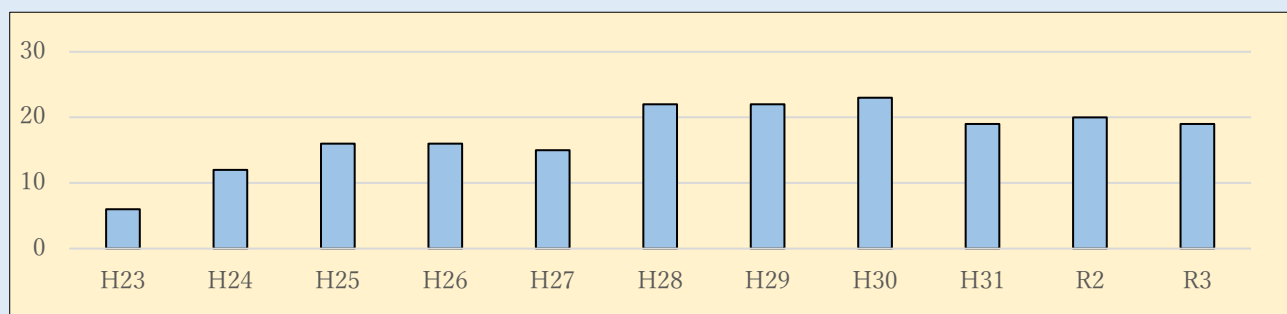
バスの整備



農業

データで見る 10年

◎10年間の在籍人数の推移（各年の5月1日現在）



◎卒業生の進路状況

動 向	職業訓練校	事業所就職					自立支援法に基づく福祉機関等							計
		事務	販売・サービス	製造	自営	その他	就労移行支援	就労継続支援A型	就労継続支援B型	生活自立	生活介護	生活支援センター	その他	
平成25年度	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	1	0	0	4
平成26年度	0	0	2	1	0	0	0	0	0	3	0	0	1	7
平成27年度	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	4
平成28年度	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1	6
平成29年度	1	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	2	6
平成30年度	1	0	4	0	0	1	0	0	1	2	1	0	0	10
令和元年度	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	5
令和2年度	2	0	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	7
計	6	0	10	3	0	3	0	0	6	8	6	0	7	49

開校 10 周年を迎えて

静岡県立伊豆の国特別支援学校
校長 早田 公子

伊豆松崎分校は、静岡県の教育の大きな特色となっている特別支援学校の高等学校内設置による共生・共育を行う分校として、この地域に開校し 10 年が経ちました。

この間、松崎高校の生徒の皆さんとは数々の合同行事を実施し交流を深めることができました。松崎高校の皆さんと日々元気に挨拶を交わし合う生徒の様子に、日常的に交流できる分校の意義を感じます。また桜葉作業や桑葉ファームなど地域の方々と連携した作業学習を数多く実施できていることは、「地域に学び、地域に生きる人」という学校教育目標の具現化された姿であるとともに、生徒の将来の生活にも大切な支えとなることと思います。

今後も地域の方々と共に共生社会を推進していく学校となるよう努めてまいります。引続き皆様の御支援と御協力をお願い申し上げます。

開校 10 周年によせて

静岡県立伊豆の国特別支援学校伊豆松崎分校
PTA会長 近藤 昌大

伊豆松崎分校、10 周年おめでとうございます。

思い起こせば、10 年前、娘は地元の特別支援学級から伊豆下田分校へ転入しました。小学部、中学部は伊豆下田分校でお世話になるとしても、その後はどうなるのだろうと、心配しておりました。そんな時、テレビのニュースで伊豆松崎分校の開校を知りました。我が家にとって、とてもうれしいニュースだったことを覚えています。

その学校に娘が入学し、将来の豊かな生活に向けて、学習に、作業にと、多くのことを学ばせていただいています。幸せに思います。

伊豆松崎分校のますますの発展を祈り、保護者代表としてのお祝いの言葉とさせていただきます。

伊豆松崎分校の役割

静岡県立伊豆の国特別支援学校伊豆松崎分校
教頭 佐々木 雅則

伊豆松崎分校と同じ松崎町にある国指定重要文化財の岩科学校が明治 12 年に作られた際、地域の教育振興熱が高く、校舎新築のための寄附金が集められたと伺いました。私が、伊豆松崎分校の開校準備委員だった 11 年前にも賀茂地域での特別支援学校高等部教育を望む強い声があったことを覚えています。

これまでの 10 年、伊豆松崎分校は、地域に支えられ、生徒の夢の実現に向けた「地域に学び、地域に生きる人」づくりを進めてきました。これからの 10 年も地域の思いにこたえ、地域とともに発展していけるよう、日々の教育活動に取り組んでいきたいと思っております。

あらためて感謝申し上げますとともに、在校生、卒業生、分校に関わった皆様のますますの幸せを祈ります。